



抄織系「森林和紙」使ったニットウェア

ニットウェアの企画製造販売業。抄織系「森林和紙」(紙でできた糸)をつかった

ニットウェアを新たに投入した。主に春夏物として販売される。

業況等の動向について

本業の動向について

ニットウェア全般の業況は、普通。今まで製造を外注していたが、委託先の事情(整理・統合)により、外注先の確保が難しくなってきた。製造を内製化すべく、国内に新工場を開設する。

参入事業の概要

抄織系「森林和紙」を使ったニットウェアを製造販売する。(「森林和紙」は商標登録申請中) 抄織系は紙でできた糸のこと。紙を細長く切って、それを撚ったものである。

抄織系「森林和紙」をつかったニットウェアは、主に春夏物。2011年2月に販売を開始した。抄織系の特性(肌触りがよい、通気性がよい、吸汗性がある、軽い)により、好評を博す。売上高3,000万円(売上構成比3%)だった。

紙といえば、原料は木材パルプで、環境保全に見合った製品かどうか消費者に注目される場所である。当社は、環境の観点で、適正に管理されていることを証明するFSC認証(Forest Stewardship Council 森林管理協会)を受けた、製紙工場の紙を用いている。原料の木が適正に管理された森で育ったものか、その木材が流通・加工途中で他の材料・製品と混ざることがないかを、認証するものである。

抄織系「森林和紙」は、環境に配慮されており、その点で付加価値を感じてもらえるのではないかと。エコ・サステナビリティ(環境維持)を求める時代の潮流に合致するものと考えられる。

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

アイソトープオリジナル製品を提供するため、開発に至った。

マーケティングについて

社内で市場調査を行った。抄織系「森林和紙」をブランド化するため、オリジナルロゴ、タグを作った。

参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

新しいことに挑戦すると、そこで始めて知ることがある。必ず学びがあるということ。今回は、流通面、コスト面で色々勉強になった。困難だったことは、特になし。

今後の展望・見通し

お客様の反応もよく、来期は増産を見込む。品質もさることながら、価格でも、競争力をもって勝負したい。

メリット・デメリット

メリットは、工場稼働率の向上である。ニット業界は、季節依存の商売で、秋冬物の需要期は忙しいが、それ以外は閑散としている。閑散期の仕事として、春夏物セーターの仕事量を増やしたかった。デメリットは特に感じていない。

異業種参入時のアドバイス

新規事業を手掛けるときは、集中して取り組むのがよい。短期かつ最小資金で立ち上げ、一気に販路を拡大するのがよいと考える。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度特に、支援を受けなかった。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援特になし。

会社概要

設立:2003年12月

資本金:5,000万円

従業員数:グループ計80名

URL:<http://www.isotopegroup.com>